

難民問題とグローバル教育Ⅱ

日時

2017年11月10日(金) 10:30~12:10

場所

宇都宮大学峰キャンパス 5B12教室(5号館B棟)

***参加費無料:どなたでもご参加いただけます。**

プログラム

10:30~ はじめに:挨拶

佐々木一隆 (宇都宮大学国際学部 学部長/教授)

10:35~ 趣旨説明

重田 康博 (宇都宮大学国際学部 教授/国際学部附属多文化公共圏センター 副センター長)

10:40~ 学生によるワークショップ「難民問題と私たち」の紹介

発表者: 第9回グローバル教育セミナー学生実行委員

10:50~ 基調演講 **阿部真理子** (認定NPO法人 IVY 理事)

「イラクにおけるシリア難民支援から見える難民問題について
~NGOの現場から」

11:50~ コメント **松尾 昌樹** (宇都宮大学国際学部 准教授)

11:55~ 質疑応答

12:05~ 終わりに **田巻 松雄** (宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター センター長)

12:10 終了

主催: 宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター

後援: 宇都宮市、宇都宮市教育委員会、(公財)栃木県国際交流協会、NPO法人宇都宮市国際交流協会

協力: NPO法人開発教育協会、まちなか・せかいネット-とちぎ海外協力NGOセンター

*後援および協力については申請中

講演者紹介

阿部 眞理子 認定NPO法人 IVY 理事

IVYのフィリピン部門スタッフとして、1998年活動開始。2000年から国際理解教育部門責任者、2002年IVY理事就任。国際協力への理解促進、国際理解教育の普及を目指し、大学・小・中・高の学校やJICA教師海外研修、市民向けセミナー等で、国際理解教育のワークショップのファシリテーターを務める。シリア・イラク支援部門、カンボジア部門の副担当。外務省NGO相談員。2010年から（特活）開発教育協会理事。

趣旨説明者（多文化公共圏副センター長）紹介

重田 康博 宇都宮大学国際学部教授/附属多文化公共圏センター（CMPS）副センター長

専門分野は、国際開発研究、国際NGO研究。国際協力NGOセンター（JANIC）政策アドバイザー、オックスファム・ジャパン監事。開発教育協会評議員。著書に、重田康博『激動するグローバル市民社会—「慈善」から「公正」への発展と展開』（明石書店 2017年）、重田康博「第2章『公正な社会』って、どんな社会？』西あい、湯本浩之編著『グローバル時代の「開発」を考える—世界と関わり、共に生きるための7つのヒント』（明石書店2017年）、重田康博「第4章ミレニアム開発目標」田中治彦編著『開発教育』（学文社 2008年）、重田康博『NGOの発展の軌跡』（明石書店2005年）、他。

コメンテーター紹介

松尾 昌樹 宇都宮大学国際学部 准教授

2004年東北大学大学院国際文化研究科博士後期課程修了（博士：国際文化）専門は中東政治経済（特に石油輸出収入と移民が体制変動に及ぼす影響）。主な著書に、『湾岸産油国 レンティア国家のゆくえ』（2009年、講談社）、『オマーンの国史の誕生 オマーン人と英植民地官僚によるオマーン史表象』（2013年、御茶ノ水書房）。共編著として『中東の新たな秩序』（2016年、ミネルヴァ書房）。

実行委員紹介

阪本 公美子	宇都宮大学国際学部准教授
湯本 浩之	宇都宮大学留学生・国際交流センター准教授
大浦 智子	とちぎYMCA
根本 久美子	大学院国際学研究科博士後期課
高階 悠輔	大学院国際学研究科博士前期課程2年
森島 光太郎	国際学部国際社会学科2年
田口 瑞輝	国際学部国際社会学科2年
岩上 享子	国際学部国際社会学科2年
谷口ジェニフェ	国際学部国際社会学科2年
ホアンアン	国際学部国際社会学科2年
渡辺 早希	国際学部国際社会学科2年
田畑 達也	国際学部国際社会学科2年
鈴木 アリサ	国際学部国際学科1年
日向 登雅	国際学部国際学科1年
田中 樺織	国際学部国際学科1年
原口 愛	国際学部国際学科1年
丁 美誉	国際学部国際学科1年
張 梓懿	国際学部国際学科1年
堀越 桃奈	国際学部国際学科1年
小山 彩花	国際学部国際学科1年
中村 茉央	国際学部国際学科1年
駒形 麻朋実	国際学部国際学科1年

■ アクセス

宇都宮大学峰キャンパス



■ お問い合わせ

宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター
TEL/FAX : 028-649-5228
E-mail : tabunka-c@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp